

平成21年度 いいね金沢環境活動賞受賞者（活動概要）

環境保全の部

（個人）

（敬称略）

氏名	分野	活動の概要
なかむら きなえ 中村 早苗	地球温暖化防止 3R推進 環境教育・学習	持続可能な社会の形成を目指し、家庭でできる省エネ、ごみの減量化を、まず自らが実践し成果をあげている。また、環境家計簿などを利用する方法や経験に基づいたアイデアを、わかりやすくプログラム化したものを活用し、地域や学校への積極的な普及啓発活動に取り組んでいる。

（団体）

もり みやこあいちょうかい 森の都愛鳥会	自然環境保全	昭和45年に身近な自然や、そこに生息する生きものの観察や保護活動を始め、それ以来、主に金沢市で、月例バードウォッチング、絶滅が危惧される野鳥の営巣調査、生息個体数調査、ビオトープ保全活動など、多岐にわたる地域に密着した自然保護活動を継続している。
-------------------------	--------	---

（事業所）

かなざわしりつ 金沢市立 こうぎょう こうとう がっこう 工業高等学校	地域の環境保全活動	今年度で8回目となる「さわやかクリーン活動」に取り組んでいる。大徳・鞍月地区の小学校3校、中学校4校、高校2校(当校含む)及び、大徳地区・鞍月地区の22町会に呼びかけ、金沢市の一斉清掃の日に行う、地域の清掃活動で約2～3,000名が参加する。当校は実行委員会事務局として計画、参加協力依頼、地区との打ち合わせ等を行っている。特に当日は、大徳地区・鞍月地区の22各町会へ、当校の生徒・教員がグループで出向き、地域の方々と一緒に清掃活動を行っている。そのほか、平成15年度に「いしかわ学校版環境ISO」の認定を受け、生徒会および美化委員会が中心になってさまざまな環境保全活動に取り組んでいる。
いしかわ けんりつ 石川県立 かなざわ にすい こうとう がっこう 金沢二水高等学校	地域の環境保全活動 廃棄物発生抑制、再資源化 水質保全	二水アクト（今年度で15回目となる学校の伝統行事）で、1年生は沈床園、3年生は金沢駅から出発し、金沢のまちなかをごみの分別回収をしながら巡り、学校まで戻って来る清掃活動を行っている。また、今年度「いしかわ学校版環境ISO」に認定され、学校内の環境保全活動についても、従来からの取り組みをさらに発展させている。特に生徒環境委員によるごみの点検・分別の徹底により、今年度前期の可燃ごみの排出量が、前年度同期の約53%に減少している。そのほか化学部では13年前から犀川、伏見川、十人川の水質調査を継続しており、今月、市内で開催された国際協力フォーラム（北陸JICA派遣専門家OB会主催）でも研究成果の発表を行った。
しゃだんほうじん 社団法人 かなざわし ちゅうおう いちば 金沢市中央市場 うんえい きょうかい 運営協会	地球温暖化防止 廃棄物発生抑制、再資源化	中央卸売市場関係事業者で構成する当協会は、関係事業者の環境保全活動などの実施について、業界全体の統制を図る役割を担っている。事業者らによる周辺の清掃活動を約30年間継続しているほか、温暖化防止対策として市場内のガソリン仕様のフォークリフトを、低公害な電動式やLPガス仕様へ順次切り替えしており、CO2の削減とクリーンな排ガスによる環境保全に取り組んでいる。また、市場で発生する発泡スチロールの処分について市と協力し、洗浄再利用や融解固化処理し、魚あらは金沢水産衛生センターで有機肥料として再生するなど、廃棄物の減量化と再資源化を図っている。
かぶしきがいしゃ 株式会社 アイ・オー・データ きき 機器	地域の環境保全活動 廃棄物発生抑制、再資源化	平成14年に環境ISO14001を取得し、事業活動と自然との調和共生を環境方針に掲げ、地域の環境保全活動への協力支援として、社員による社屋周辺の道路・公園の清掃活動を継続、犀川清掃ランニングなどにも参加している。社内の環境活動としては、「ゴミ分別辞典」「ゴミ分別フローチャート」を作成・活用し、分別を徹底することにより、社内から出る廃棄物のリサイクル率の向上を図っている。製品の環境配慮設計にも力を入れ、ソフトウェアインストール不要の製品開発による添付CDの削減や、商品パッケージの小型化によるリデュース（ごみの発生抑制）を推進している。

地域美化の部

(個人)

(敬称略)

地区(校下)	氏名	活動の概要
小坂	くしき かつよし 櫛木 勝喜	平成11年から、地域のごみステーションの整理整頓に努められ、小公園の除草や清掃にも積極的に取り組まれている。その姿を見て、活動を手伝う人が見受けられるなど地域の美化意識向上に大きく貢献している。
富樫	たけざわ あきお 竹沢 昭夫	平成15年から、地域のごみステーションにおいて、ごみの日の分別指導だけでなく常日頃から気を配り、分別のわかりやすい表示板の取り付け、補修、前日の準備まで工夫して行っており、適切にごみ出しと町内の美化を実現している。
諸江	たじま 太島 トミ子	平成18年から、割出町公園のトイレ清掃と除草やごみ拾いに、同町会の(故)山崎博史さんと二人で一日おきに交替し取り組んでこられた。その活動は公園利用者や町会の美化意識向上に大きく貢献している。
崎浦	ながた 永田 みよ	平成11年から、清掃当番とは関係なく自発的に単独で、随時、森丘児童公園の除草や清掃に取り組まれおり、特に落ち葉の時期は毎日のように清掃されている。その姿が、町会の公園維持管理活動の模範となっている。
野町	みつい けんじ 三井 憲治	平成16年から、地域のごみステーションの確認、清掃活動及び分別指導に積極的に取り組まれている。その活動により、指定日以外のごみの不法投棄が減り、ごみステーションが清潔になるなどの成果が上がっている。
東浅川	みやじま よしえ 宮島 芳枝	平成15年から、地域のごみステーションでの分別と出し方の指導を行い、立看板の工夫や、校下や町会の集まりでごみの出し方の説明を行うなどの熱心な取り組みは、地域のごみ出しマナーの意識徹底に大きく貢献している。
長田町	みやむら しんいち 宮村 信一	平成12年から、町会内の道路、緑地帯、JR高架下などの除草、清掃及びごみステーションの整理整頓に積極的に取り組まれ、その姿を見て活動に参加した高齢者の方々のまとめ役となり、市と街路樹里親制度を結ぶまでに発展した。
戸板	よしだ けんじ 吉田 健治	平成13年から、特にごみが多い示野橋から犀川橋まで約3 kmにわたる犀川右岸のごみ清掃に、ほぼ毎日取り組まれている。その活動により川辺を気持ちよく散歩することやサイクリングをすることができるようになった。

(団体)

地区(校下)	団体名	活動の概要
米丸	くろだ ふしみがおかちようかい 黒田伏見丘町会	西部地区でも有数の大きなごみステーションを管理しているが、10年前から、交代当番制でごみステーションでの分別、減量化の指導を行い、自主分別表示板を貼るなど工夫して美化に努めている。
千坂	ひきだ ちようかい 疋田町会	従前より、ステーションの美化に努めていたが、平成20年に鍵のかかるごみ箱を設置し、当番制を実施している。常時のごみ出しを不可能とすることで町会住民の分別と美化意識の向上を図っている。
十一屋	へいわ ちく ちようかい 平和地区町会	10年前から、ごみステーションでの交代制の立ち番を行い、午後の収集作業時にも立ち会いをしている。住民同士の協力体制が密接であり、熱心に分別の徹底と減量化に取り組んでいる。
諸江	わりだし ちようかい 割出町会	平成16年より、毎月最終土曜日を町内クリーンキャンペーンの日と定め、自由参加であるにもかかわらず毎回多くの人に参加し、清掃活動を行っている。町会住民の美化意識の向上により、開始時よりもごみ収集量が激減している。